

令和5年度 学校評価アンケート集計結果 考察

【生徒】

- ・今年度もタブレット端末による回答としました。紙媒体での実施は行っていません。
- ・「自立と貢献」のテーマのもと、「笑顔・多様性・update・挑戦」をキーワードにして今年度の教育活動に取り組んで参りました。全体的どの設問についても、たいへんそう思う（1）、ややそう思う（2）と肯定的な回答をした生徒がおおむね80%を超えており、今年度の教育活動について一定の成果が得られたものと推察しております。
- ・生活に関する内容（1～9）については、とくに「（1）学校や学級の雰囲気がよく、学校生活は楽しい。」や「（2）互いに注意し合う仲間関係があり、自分の周りにいじめがない。」については、学校が「お子さまの居場所」としてふさわしいものとなるよう、今後も気を引き締めて取り組んで参ります。「（8）生徒会や委員会活動・係活動に積極的に取り組んでいる。」や「（9）体育祭・合唱コンクール・輝秋祭などの学校行事に積極的に取り組んでいる。」については肯定的回答が全体と比較しても高くなっており、今年度も生徒の自主的、自立的、また協働的な活動が展開できたものと推察します。今後も、生徒による積極的な自治活動を支援して参ります。
- ・学習に関する内容（10～23）について、ほとんどの生徒が授業に対して意欲的に取り組んだ、と回答しています。その他の項目からも、生徒の学習活動の充実ぶりが看取できます。教科指導についても生徒の肯定的な回答が高かったです。「（14）理解できないところをていねいに教えてくれる」については、昨年度よりも4ポイント上昇しており、昨年度の状況が改善の方向にあることが明らかとなりました。
- ・生活規律に関する内容（24～34）については、全体を通してとても肯定的意識が高く、生徒一人ひとりが自律的で落ち着いた学校生活を醸成しているものと考えております。今後も、時間の遵守、清掃、挨拶、言葉遣い、身だしなみ等、将来社会に出たときでも「あたりまえ」にできる人になって欲しいと願っております。
- ・教職員に関する内容（35～42）については、肯定的回答は昨年度とほぼ水準でした。今後も、「学校における働き方改革」を推進させて、生徒に向き合える時間の捻出、充実した指導に向けた研修の実施、信頼される取り組みの推進等に努めて参ります。

【保護者】

- ・生活に関する内容(1～8)について、まず「(1) お子様は、明るく楽しく学校生活を送っている。」では、今年度も9割近くの保護者の方から肯定的回答を寄せていただくことができました。この結果を次年度にもつなげられるよう、教育活動について様々な視点からとらえ直し、生徒にとって魅力のある学校づくりに邁進して参ります。
- ・「(5) 学校からのお知らせやたよりはいつも見ている。」について、今後も家庭への配付物等について、可能のものは電子配信を行っていく予定です。
- ・「(8) 合唱コンクール・輝秋祭などの行事は、お子様にとって有意義なものであったと感じている。」については、今年度も9割を超える高水準の結果となりました。生徒にとっても学ぶことの多い学校行事について、引き続き生徒が主役となる学年行事の充実に努め、生徒の自主性を育むことができるものとなるよう支援して参ります。
- ・学習に関する内容について、とくに「(10) お子様は、授業をわかりやすいと言っている。」については、前年度よりも改善が見られました。今後も、言語活動の充実、小グループ活動を積極的に取り入れた授業づくり、ICT機器の活用等を念頭に置きつつ、「わかる授業の展開」に取り組んで参ります。
- ・規範に関する内容(15～22)については、おおむね良好な回答結果となっております。引き続き保護者の方とともに、規範意識の醸成に努めて参ります。
- ・教職員に関する内容(23～30)については、全体的に昨年度よりも肯定的な回答が寄せられる結果となりました。とくに「(23) 教職員は、生徒の気持ちを理解して対応している。」は8ポイント、「(24) 教職員は、話しやすい、相談しやすいと感じている。」は14ポイントとそれぞれ上昇しており、今年度はより生徒にとって相談しやすい環境を提供できたものと推察します。「(27) 学校は、生徒への進路指導・キャリア教育をしっかり行っている。」については、昨年度よりも肯定的な回答が8ポイント上昇していました。引き続き「自立した社会人の育成」を念頭に置き、社会とシームレスに繋がる学校づくりを目指して参ります。